

1 令和5年度霧島市土地開発公社事業報告書

(1) 総括事項

霧島市土地開発公社は、平成26年3月に設立団体である霧島市により策定された、「霧島市土地開発公社解散プラン」に基づき、平成30年度末に解散予定としましたが、平成30年6月議会において、解散時期については再考するとの市の方針が示され、解散時期を延伸されています。

令和5年度の取組みとしては、主に公社保有地の適正管理や、第2国分上小川工業団地用地に係る造成工事及び道路改良工事を行いました。令和5年度における取得と処分は次のとおりです。

① 公有地事業

ア 公有用地 (P2)

(取得) なし

(処分) なし

イ 特定土地 (P3)

(取得) なし

(処分) なし

② 土地造成事業 (P4…完成土地等、P5…開発中土地)

(取得) 第2国分上小川工業団地用地 2,502.79 m² 12筆
703,148,067円

(処分) なし

これらの明細については、P2～5の用地別明細表のとおりです。

令和5年度期末の保有地全体面積は456,278.24 m²、残り18用地で、期末残高金額は2,549,322,307円となります。

次に損益の状況としては、P11からの損益計算書のとおりです。事業収益0円に、事業原価0円、販売費及び一般管理費13,077,264円を減額すると、事業損失13,077,264円となり、さらに事業外収益707,640円に、事業外費用0円を加減し、12,369,624円の経常損失となります。これに特別利益0円に、特別損失0円を加減すると、本年度は、12,369,624円の当期純損失が生じることとなりました。この損失は、前期繰越準備金469,357,541円を減額して整理しました。

また、資産及び負債の状況については、P13からの貸借対照表のとおりです。資産合計2,917,444,263円に対し、負債合計2,450,438,346円で差引き純財産(資本合計)は、467,005,917円です。

借入金償還金については、今年度、新たに土地開発基金から380,000,000円の借入れを行っていますが、第2国分上小川工業団地用地の売却時に一括して返済する予定であるため、0円となります。

以上で、令和5年度霧島市土地開発公社業務の概況を申し上げ、詳細については、次のとおり報告します。